

地球温暖化対策実行計画改定委員会
審議結果報告書

姫路市環境審議会
会長 中瀬 勲 様

地球温暖化対策実行計画改定委員会審議結果報告書

令和4年（2022年）11月15日

委員長	奥 勇一郎
副委員長	中瀬 勲
委員	家永 善文
委員	浦上 文男
委員	通山 由美
委員	筈井 公美子
委員	林 叔子
委員	星尾 隆文
委員	合田 勝彦

令和4年5月31日付で姫路市環境審議会から地球温暖化対策実行計画委員会に付託された姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について、審議結果を報告します。

1 付託事項

姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定

2 審議経過

令和4年5月31日 地球温暖化対策実行計画委員会の設置、付託事項の審議
令和4年10月18日 付託事項の審議

3 主な審議内容

（意見1）雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間である「雨庭」が、海外では普及しつつある。ヒートアイランド対策としての効果も期待できるため、今後の普及促進等について検討いただきたい。

（対応1）市の取組として53頁に記載し、55頁にコラムを掲載した。

（意見2）気候変動の現状を紹介する写真は、惨状がより伝わりやすいものとするべきである。

（対応2）掲載する写真を精査し、7頁に3点掲載した。

（意見3）中小企業の温室効果ガス削減に向けた取組としては省エネ設備導入しか手法が無く、削減目標達成の実現可能性について非常に懸念している。

（対応3）削減ポテンシャルを試算した上で、国や県の計画とも整合を図り、2050年カーボンニュートラルの実現を見据えた削減目標を、26・27頁に記載した。

（意見4）削減目標の達成のためには、中小企業を支援するための大胆な予算措置が必要である。また、設備投資等に企業が取り組みやすい環境づくりが必要である。

（対応4）現行計画では、市民活動・事業活動の取組を1つの基本施策の中に含めているが、新たに「事業活動における脱炭素化の促進」を市民向けの施策とは切り離して一つの基本施策とし、支援策を充実させた上で、37頁から40頁にかけて記載した。

（意見5）SDGsやESG投資等について、中小企業が学ぶことができるソフト面の施策が必要ではないか。

（対応5）37頁の基本施策2の中の「企業へのカーボンニュートラルの促進」として脱炭素セミナーの開催などにより、啓発に取り組む。

（意見6）子ども向けの環境学習については、非常に重要であるため、なるべく早期に環境学習の機会を提供できるよう努めていただきたい。

（対応6）33頁の基本施策1の中の「カーボンニュートラルの啓発」において、タブレット端末用の子ども向け学習教材の作成や環境学習の推進、環境イベントの充実に引き続き取り組んでいく。

4 計画の概要

別紙「姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要」のとおり